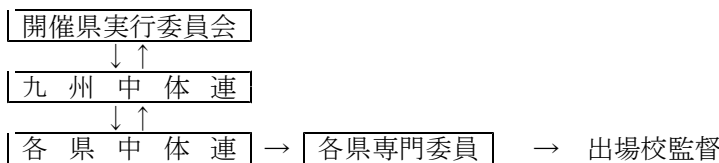
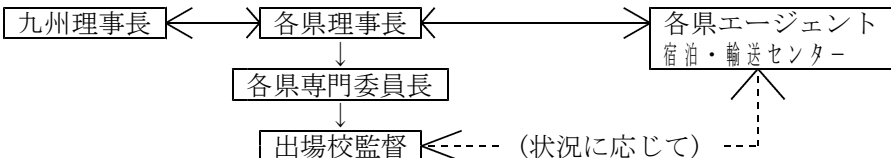


災害等時における九州大会開催に係るの対応について

1. 大会運営の基本

- (1) 原則
- 九州の代表を決定することを原則とする。
 - 大会成立のための必要参加数は、2県3チームとする
 - 2日間を目安として大会の延期もあり得る。
- (2) 留意事項
- 各県チームが1チームも入れず、大会開催が不可能な場合
→『中止・全国大会棄権』
 - 1部のチーム入りがあり、大会が成立した場合
→『九州代表を推薦または抽選で決定することも可能』
推薦・・・チーム入りがあったが、全中出場チーム数に満たない場合に推薦する
抽選・・・大会成立条件がそろったが、天候等で代表決定戦ができなかった場合に抽選する。
 - 運営方法を変更して実施することも可能
→『2日間以内の延期の範囲で順延または、2日間開催を1日開催に短縮等』
 - いずれの場合も、最終判断は九州中体連が行う。
- (3) 緊急時の連絡
- 
- ```
graph TD; A[開催県実行委員会] <--> B[九州中体連]; B <--> C[各県中体連]; C --> D[各県専門委員]; D --> E[出場校監督];
```
- (4) 補足
- 陸上及び水泳については、2県参加が成立基準。(大会中止もあり得る)
  - 競技大会は成立したが、男子種目または女子種目どちらかのみで開催もあり得る。その場合の措置は、上記留意事項①②に準ずる。

## 2. 台風接近時の対応

- (1) 方針 出場校の大会参加が可能な方向で、最大限の努力と配慮をする。
- (2) 連絡態勢
- 不確定な情報の錯綜による、出場校の混乱を防ぐために、各県中体連と九州中体連が緊密に連絡を取り合い、確実な情報提供に努める。
  - 最終判断時刻は未定につき、各県関係者は確実に連絡がとれるようにして待機しておく。
- (3) 連絡方法
- 
- ```
graph TD; A[九州理事長] <--> B[各県理事長]; B <--> C[各県エージェント  
宿泊・輸送センター]; B --> D[各県専門委員長]; D --> E[出場校監督]; E -.-> F["(状況に応じて)"]; C -.-> F;
```
- (4) 競技前日
- 深夜および翌日の到着見込みがあれば、到着遅延県の「専門委員会」「監督会議」「開会式」への参加をの対応免除し、予定通り実施してもよい。なお、協議内容は確実に事後連絡する。
 - 各県実行委員会は、競技会場、宿舎確保、既着県の延泊経費負担等の状況を考慮し、競技開始最大遅延可能日時を設定しておく。
- (5) 競技運営
- 大会そのものの運営が優先されるため、台風の進路予想によっては突然の再変更があり得る。したがって到着したにもかかわらず、出場できなかったという事態が生じる場合もある。
 - 屋外実施競技においては、晴雨の状況に応じて、上記の場合と同様の対応を取る場合がある。
 - 専門委員会および監督会議で了承が得られれば、順延が可能な競技もある。

3. 感染症への対応

- (1) 方針 疑い、症状のある場合には、ただちに医療機関に搬送し、医療機関の指示、指導を受け、感染拡大防止等に努める。
- (2) 連絡方法 大会運営の基本(3)の緊急時の連絡に準ずる。尚、行政へも連絡すること。
- (3) 競技運営 大会参加可能なチーム・選手によって、代表を決定する。